

PICK UP

「民泊」してみませんか

2017年
 愛媛県で開催される「えひめ国体」
 そして
 鬼北町で開催される
 「少年女子バレーボール」
 せっかく鬼北町に来るのだから
 地域のこともしっかりしてほしい
 そんな思いを込めて行う
 「民泊」
 「民泊」の意義とは、魅力とは…



「えひめ国体」開催

2017年に愛媛県で開催される「えひめ国体」。

「みきゃん通信(※15ページ参照)」でも何度か掲載しているように、鬼北町では、「少年女子バレーボール」

「少年男子バスケットボール(宇和島市主催)」が行われる予定となっています。

そして、鬼北町では「少年女子バレーボール」に出場する選手や監督を「民泊」という形でお迎えしたいと考えています。

「民泊」とは…

「民泊」とは、全国から参加する監督や選手が、宿泊料金を支払って一般家庭に宿泊することを言います。

「民泊」だからこそ感じることでできるおもてなしの心。そのぬくもりが評判を呼び、全国各地でこの「民泊」が行われ、数々の絆、そして思い出を築いてきました。

鬼北町では今回、食事を集会所・公民館等で提供し、

宿泊・入浴を一般家庭で行う「共同民泊」をすることとしています。

民泊協会の立ち上げを

「民泊」は、当然1人の力では行うことはできません。行政区単位で行うことを基本に、地域の皆さんが協力して「民泊」を行うための組織「民泊協会」を、まず立ち上げなければなりません。

「自宅に宿泊してもらおう」ことだけが「民泊」ではありません。民泊協会を組織する、総務班・調理班・美化班・歓迎班・家庭班、この5つの班が合わさることと初めて「民泊成功」への道が開けるのです。



民泊協会の条件



「民泊」をするにあたって、難しい条件などはほとんどありません。

「選手・監督1人当たり2畳の宿泊部屋の確保」「競技会場となる鬼北総合公園体育館から集会所等(民泊拠点施設)までの所要時間が自動車で30分以内」などの規定もありますが、「選手たちを気持ちよく迎えたい」その気持ちが何よりも大切です。

「民泊」を行う目的の1つに、「鬼北町のことを知ってもらいたい」という思いがあります。鬼北町らしい、鬼北町にしかできないおもてなしは、鬼北町に住んでいる人たちにしかできないことです。